



## ■カフェ「ククコーヒー」

経営学科藤野ゼミ（ビジネスリーダーコース）では、九国のPRを目的としたカフェ「ククコーヒー」を不定期開催しています。8月6日のオープンキャンパスでは多くの高校生にご利用いただき、大好評でした（経営学科3年 西元桂子）。

## 第4号 特集

# 新コースの活動状況

経済学部だより第4号をお届けいたします。今回は、2015年度から新たにスタートした企業人養成コース、ビジネスアスリートコースの活動状況を中心にご報告いたします。

### 目次

- |   |                  |
|---|------------------|
| 1 | 表紙               |
| 2 | 企業人養成コース         |
| 3 | ビジネスアスリートコース     |
| 4 | TOPICS：懸賞論文・統計検定 |

## 特集：新コースの活動状況

2015年度から設置された「企業人養成コース」と「ビジネスアスリートコース」が、今年度より本格的に始動しました。

企業人養成コースは、専門的科目と実践的科目を連携させたカリキュラムによって、企業で幅広く活躍できる職業人の養成を目指すコースです。

ビジネスアスリートコースは、スポーツイベントのプランニングやスポーツの現場でのフィールドワークを取り入れることによって、ビジネスの仕組みをよりよく理解できるカリキュラムを提供しています。

今号では、企業人養成コースのコース科目である「社会生活のしくみ」と、ビジネスアスリートコースのコース科目「イベントプランニング」内で実施された野球教室の様子をお伝えします。

### (1) 企業人養成コース

「社会生活のしくみ」は、身近な金融商品などのしくみや将来設計の意義や方法など、個人の生活とお金についての基本的知識の習得を目指す授業で、企業人養成コースのコース科目です。今年度は春学期と秋学期に週1回ずつ開講され、春学期は約110名の学生が受講しました。講師はファイナンシャル・プランナーとしてご活躍されている新垣のぞみ先生にご担当いただいています。



基本的には講義形式の授業ですが、ディスカッションなどのグループワークをふんだんに取り入れた授業によって、教室は毎回熱気に満ちています。社会人としても家庭人としてもお金との付き合いは避けて通ることができません。卒業後の生活の中で、この授業で学んだことを活かしていくことが期待されます。

コース主任 中間 信博  
(経済学部経営学科教授)

### ● 受講生の感想

「社会生活のしくみ」では、主に「お金」についての知識を学ぶことができます。他にも私たちが将来かわることになる国民年金、生命保険のしくみなど実用的な知識が身につきます。先生が用意して下さるテキストはとても分かりやすいので、安心して受けることができます。知識を学ぶだけでなく、文章にまとめたり、グループディスカッションで意見交換をする時間もあるため、自分の考えを相手に伝える力もつけることができます。

また、講師の先生は大変親しみやすい方なので、講義に関する疑問以外のことでも質問ができ、とても心強いです。私のようにお金のことを知りたい人にもおすすめです。

経済学部 経済学科 2年 檜鶴 亮  
(福岡県 京都高校出身)



私がこの授業を受けて感じたことは、お金のことや将来の生活について考えることがいかに大切かということです。これまでお金のことについて深く考えることはありませんでしたが、授業中のグループワークで身の回りのお金の問題について話し合う機会を持つことができました。また、将来の人生設計を立てることで、生涯だけのお金がかかるか、就職してからどのような生活を送るかなどについても意識するようになりました。レポート課題や小テストが定期的にあるうえに、授業中の発表が毎回あるので、大切な問題を繰り返し考え直すこともできました。これを機に、自分の将来のことやお金の大切さについて真剣に考えていきたいと思います。

経済学部 経済学科 2年 武藤 真奈  
(福岡県 田川高校出身)

## (2) ビジネスアスリートコース

今回の野球教室は、「イベントプランニング」という科目の一環で実施しました。この科目は、スポーツイベントを通じた自己実現や社会貢献が出来る人材の育成を目指しています。具体的には、スポーツイベントの概要、スポーツイベントの経済性、スポーツイベントの基本構造とプランニングといった座学を行ったうえで、野球教室を学生が自ら企画・実践しました。しかし、受講生の多くが県外出身者であり地元の学生がおらず、野球教室に来てくれるチームを探すのに難航しました。そんなとき、ゼミの学生である坂口君が、彼のお父さんの知り合いの方が監督をされている「福岡ボンバーズ少年少女野球団」(福岡市早良区)を紹介してくれることになり、開催することができました。佐座善信監督、宝蔵寺恭介父母会長にはこの場を借りて御礼申し上げます。

野球教室は、2016年6月26日(日)9時から12時にかけて、九州国際大学若松グラウンドで行われました。参加者は小学6年生男子9名で、受講者9名と一緒に、トレーニング、キャッチボール、守備練習、ティー・バッティング、試合を行いました。当日の進行は三好将司君が務めました。

**コース主任 男澤 智治**  
(経済学部経営学科教授)

### ●受講生の感想

最初は面倒だとも感じていた野球教室でしたが、最終的には本気で指導したいという心の変化がありました。そしてもう一つ、指導者に感謝することの大切さを再確認しました。練習を見るだけでも精一杯なのに、人間性まで育てていただける指導者の方々に本当に感謝です。この経験を将来に活かそうと思います。野球教室を開いて本当に良かったと感じています。

**経済学部 経済学科 2年 松浦 友人 (投手)**  
(高知県 中村高校西土佐分校出身)

この少年野球教室を行ったことで、私自身、野球に対して振り返り向き合う事ができました。そして、指導者という新しい将来の選択肢について考えるきっかけにもなりました。教室に来てくれた小学生たちの前にも、これから色々な壁が立ちふさがるとは思いますが、やることをやればきっと夢は叶うと信じて、野球を続けてほしいと思います。

**経済学部 経済学科 2年 三好 将司 (外野手)**  
(長崎県 創成館高校出身)

一つ言えることは最高に楽しく充実した時間だったということです。野球を教えなくてはと気張っていた自分が間違っていました。野球を始めた理由、必死にボールを追いかけていた頃の気持ちを思い出すと自然に答えは出てきました。私たちは、結果を出そうとするばかりで大好きな野球を楽しめていなかったのです。感謝を言いたいのは私たちの方です。初心に戻らせてくれてありがとう。

**経済学部 経営学科 2年 有吉 亮太 (外野手)**  
(山口県 宇部商業高校出身)



### ●小学生の感想

全体的に、分かりやすく丁寧に教えてくれて楽しかったとの評価でした。

#### 1. 体カトレーニングについて

- ・動きなどがきびきびしていてお手本になりました。
- ・体を動かしてしっかり食べると、体が大きくなることを教えてもらいました。
- ・大きい声を出してくれてやる気が出ました。

#### 2. キャッチボール&守備について

- ・細かいところまで丁寧に教えて下さって覚えやすかった。
- ・「右手で取って右足を出す」という動作が分かりやすかった。

#### 3. 打撃の基本について

- ・打撃の良いところ、悪いところを見つけて言ってくれた。
- ・バットは大きく振った方がよいと教えてくれました。
- ・前に払って強くインパクトすることなど習ったことは今後の試合で活かしていきたい。

# TOPICS

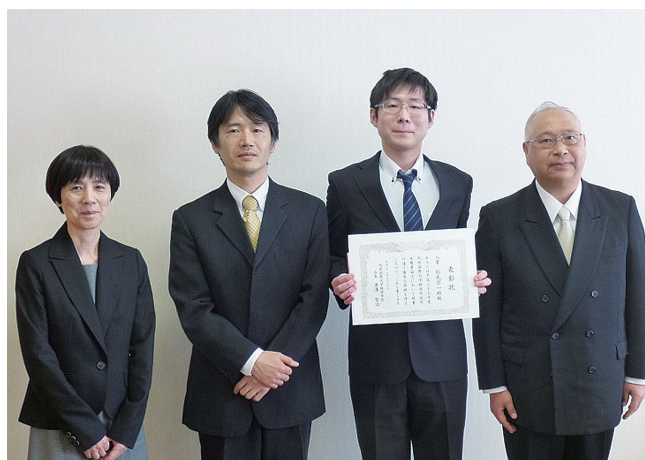
## (1) 2015年度学生懸賞論文

経済学部内に置かれた学術団体である九州国際大学経済学会は、毎年学生懸賞論文コンテストを主催しています。2015年度は、同年度に経済学科を卒業された柁丸宗一郎さん（福岡県鞍手高校出身）の「近年における日本の消費関数」が、最優秀論文（入選）に選ばれました。

柁丸さんの論文は、日本の消費データを用いた計量経済学的分析によって、さまざまな消費理論仮説の妥当性について検証したものです。学部学生としては高度な手法を用いた緻密な分析に対して審査員から高い評価が与えられ、今回の受賞に至りました。

表彰式は、卒業式当日の3月20日（日）に経済学部長室にて行われました。

「論文を書くにあたって一番大事なことは、色々な人にアドバイスを求めることです。今回の受賞論文も、多くの先生方のご指導を受けながら書き進めていくことで、自分を成長させてくれたと感じています」（柁丸さん談）。



## (2) 統計検定への挑戦（山本ゼミ）

私のゼミでは専門の労働経済学だけでなく、統計学の知識とデータの扱いも併せて学ぶように指導しています。現代の経済学はどの分野でも理論と実証分析が求められていますが、労働経済学では近年、実証分析の比重がより大きくなっています。また、ビジネスの現場でも数字に基づいた判断や提案型の営業などデータの活用が拡がりを見せています。データを適切に扱う素養を学生のうちに身につける重要性が高まっているのです。

そこでゼミでは、統計学を学ぶモチベーションのアップに繋げるために、統計に関する知識や活用力を評価する全国統一試験である統計検定の受検を促しています。

最終的には2級の合格を目指していますが、学生には勉強とその成果を確実に積み上げていくように、3級もしくは4級から着実に取得するように勧めています。すでに3級に合格し、11月に行われる試験で2級合格を目指して統計学の勉強会に参加している学生もいます。

統計検定の資格取得に向けた勉強を通じて、学生が卒業後も学び続け、社会で活躍できる力を積み重ねていくことを期待しています。

経済学部 経済学科 助教 山本 雄三



今回統計検定3級を受けるにあたって注意したことは、自分が出来る範囲で良いから毎日勉強を続けるということでした。1日10分の勉強を約2ヶ月続け、試験の1週間前だけは1日1時間勉強しました。本番ではほとんどの問題をスムーズに解くことが出来、試験後の自己採点ではミスは3問のみとまずまずの結果でした。ただ目標としていたS評価合格ではなく、A評価合格だったのが残念でした。2級を受ける際はS評価合格が取れる様に頑張りたいと思います。

経済学部 経済学科 2年 木村 誠  
(福岡県 九州国際大学付属高校出身)

発行人：九州国際大学経済学部

〒805-8512 北九州市八幡東区平野1丁目6番1号

電話 093-671-9010 FAX 093-662-8340

<http://www.kiu.ac.jp/>

編集人：経済学部長・男澤智治